

本時のねらい

- ・ひかりのうつりかたによって変化する色や形について交流する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ミライシードの活用により自分が選んだ作品の良さを他者にわかりやすく伝えることができる。
- ・ミライシードにより他者の意見が共有され自分の作品に反映することができる。
- ・他者の意見がクラウド上に集約されていることで、他者の作品の良さに気づき、交流する(認め合う)ことができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ミライシード(オクリンプラス) ・カメラ

本時で育む主な情報活用能力

**B-STEP 1, D-STEP 1
J-STEP 1, M-STEP 1**

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



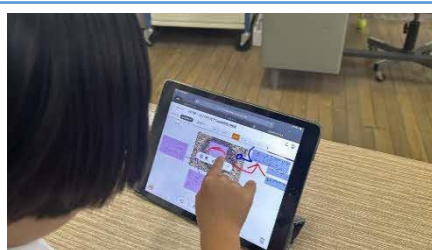
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	○運動場で撮った写真の中から、グループで紹介したいお気に入りの一枚を選び、オクリンプラスに送る。 【写真 1】	○グループで作業がしやすいように、グループごとにボード（オクリンプラスの「みんなのボード」）を分ける。 ○写真を拡大・縮小する中で、細部にみられる作品の良さや全体からみる作品の良さに着目できる。
展開 (25 分)	本時のめあて：友だちのさくひんのいいところを見つけよう！ ○自分のグループで選んだお気に入りの 1 枚に「おすすめポイント」や「工夫したところ」を入れる。 ○別のグループのボードに入り、グループのおすすめポイントを確認し、付箋でコメントをする。 青色の付箋…他に見つけたいところ 同じく良いと思ったところ 赤色の付箋…アドバイスを書きこんでいく 【写真 2】	○オクリンプラスの「みんなのボード」を使うと、1 枚のカードにグループの児童で同時に書きこみができる。また、他者参照が容易で、自分や他者の考えをたくさん知ることができる。 ○同じボードに付箋を置くことで、見ている視点や感じ方の違いや良さに気づかせる。 ○付箋の色を変えると見やすく整理できる。また写真のどの部分に対するコメントなのかを矢印などを使ってわかりやすく伝えることも容易にできる。 ○他者の作品を見ながらスタンプやコメントをしあう。
まとめ (15 分)	○他者からもらったアドバイスや良さを確認しながら、運動場で撮影を行う。 【写真 3】	○おすすめポイントを確認しながら、他者と協力して撮影する。 ○撮影したものをその場で見直し、修正を加えながら作品を仕上げていく。 ○光のあたり方や見え方、撮影の仕方の違いに着目しながら見比べることができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】グループでお気に入りの一枚を選択し、オクリンプラスに入れる。



【写真 2】色別の付箋で整理しながら、他のグループの写真の良さやアドバイスを伝え合う。



【写真 3】アドバイスをうけて、撮影を行う。

児童生徒の反応や変容

- 他者からのコメントを受け、自分の作品の良さに自信を持ち、新たな作品のステップアップをめざす児童や、アドバイスから新たな発想をもち工夫しながら作品と向き合う児童など、タブレット端末を使った交流により、「もっと色を変えてみたい！」「次はもっと地面に近づけて撮ってみたい！」という意欲的な姿勢や声が数多くみられた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 児童自身が作品のくふうしたところや頑張ったところを共有し、それをお互いに認め合える場を設定することで、発表の苦手な児童も自信をつけることができる。端末を活用すると、自分が参考にしたい作品などをより詳しく見て気づくことができ、自分の作品をよりよくしようという意欲につながるができる。